

ぼくの名前はチエルコ。

君たちの世界とぼくらの世界は、
次元を超えて繋がって
いると、死んだ
父さんが
話してくれた。

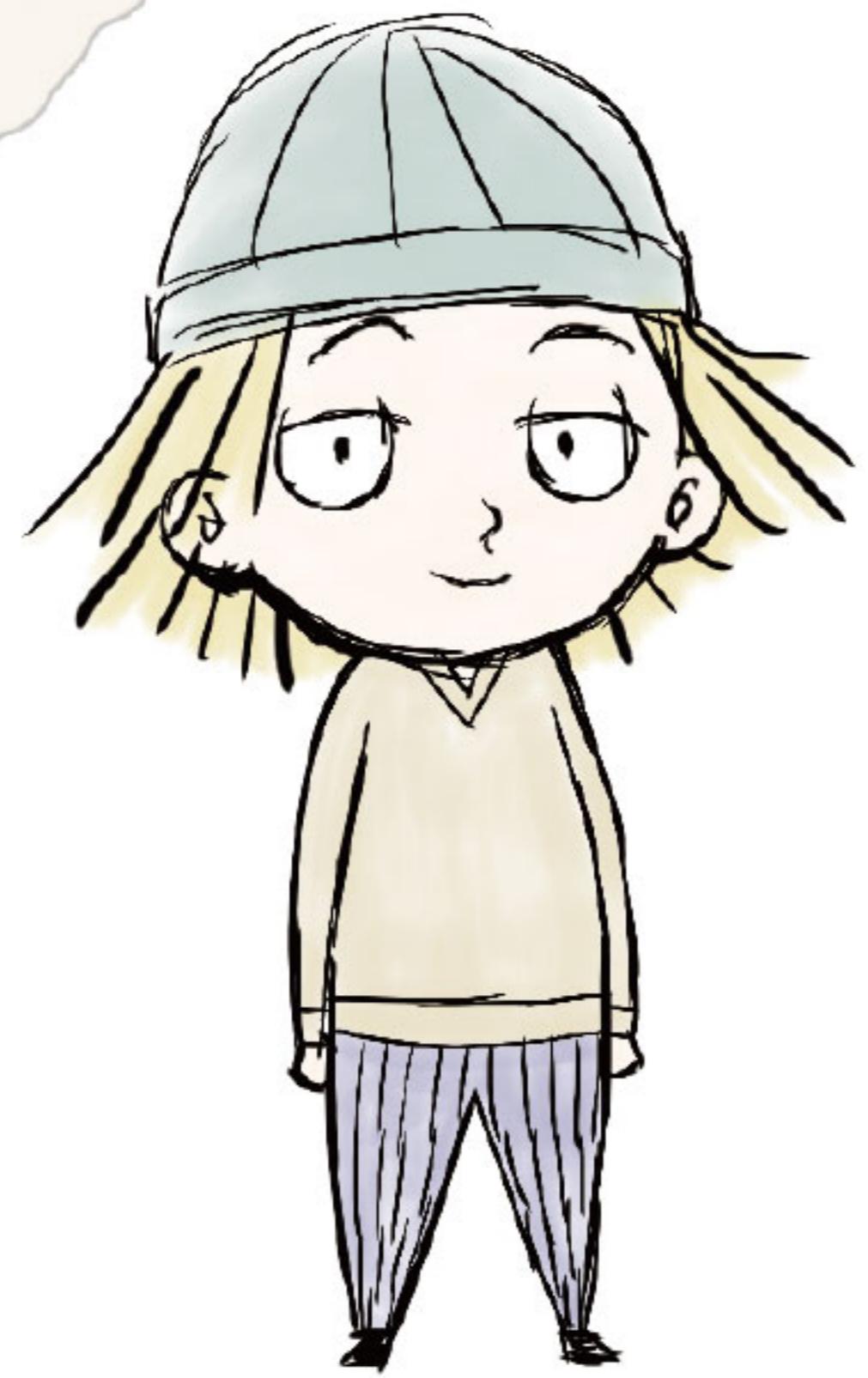


君たちが「空想」と
呼ぶ世界に、
ぼくは生きている…



Snow White kiss
白雪姫のkiss

<登場人物>



【Chelko】

戦争孤児。ラッティと一緒にマンホールの下に住んでいる。
気がやさしくて、おっとりとしたタイプ。

【ラッティ】

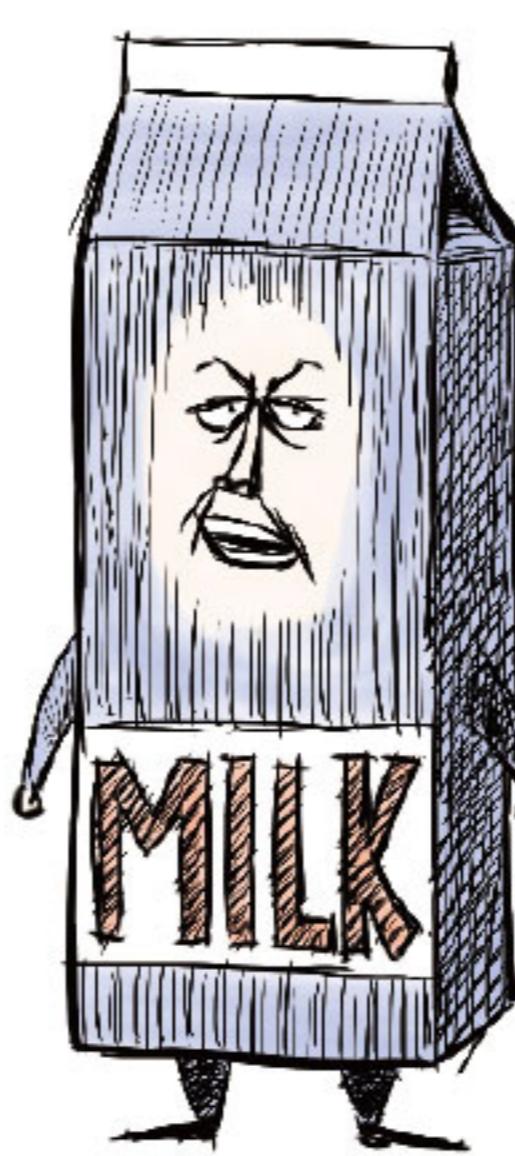
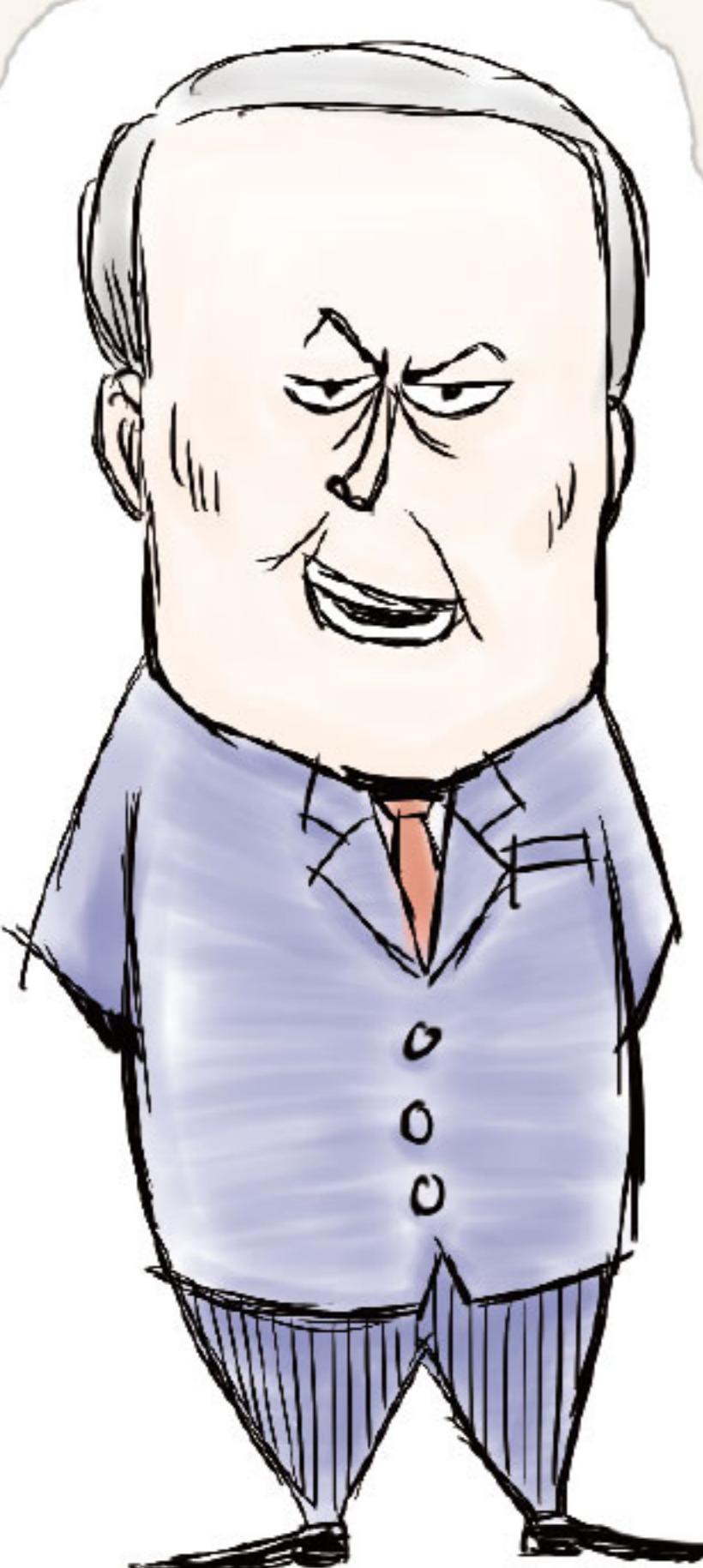
Chelkoの親友。
魔法の爆弾によりネズミに変えられてしまった。
性格はChelkoとは真逆で短気で怒りっぽい。



【市長】

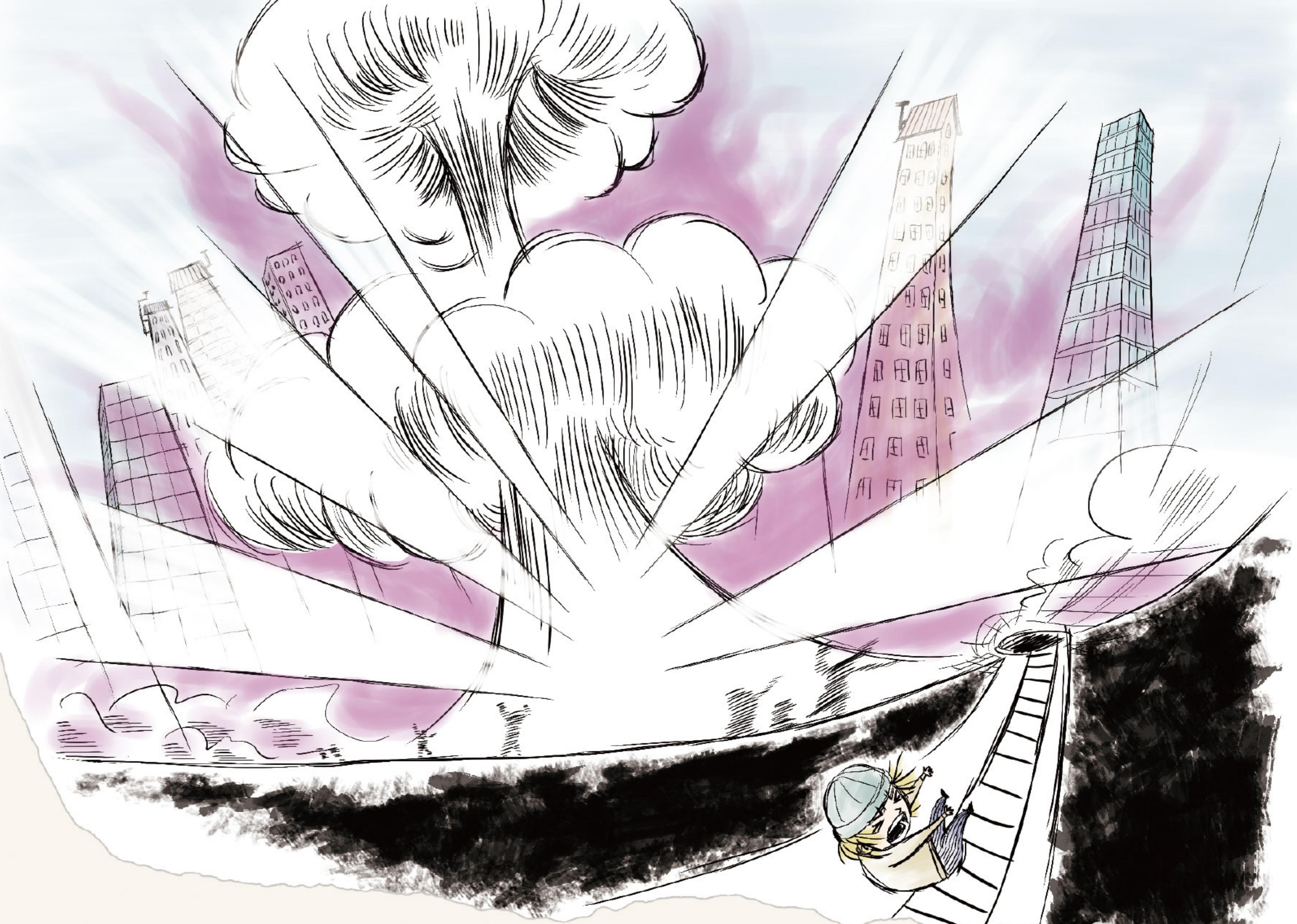
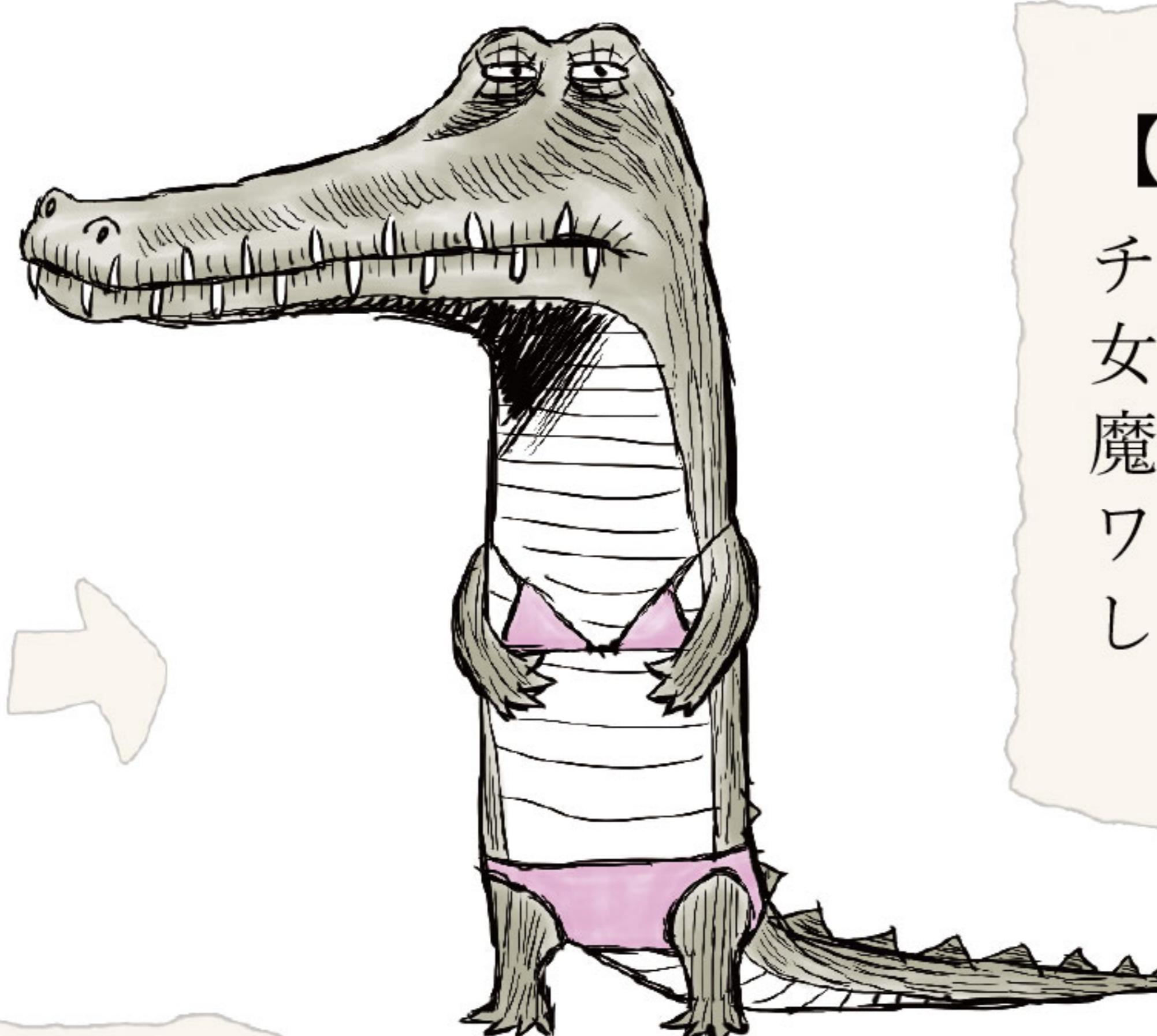
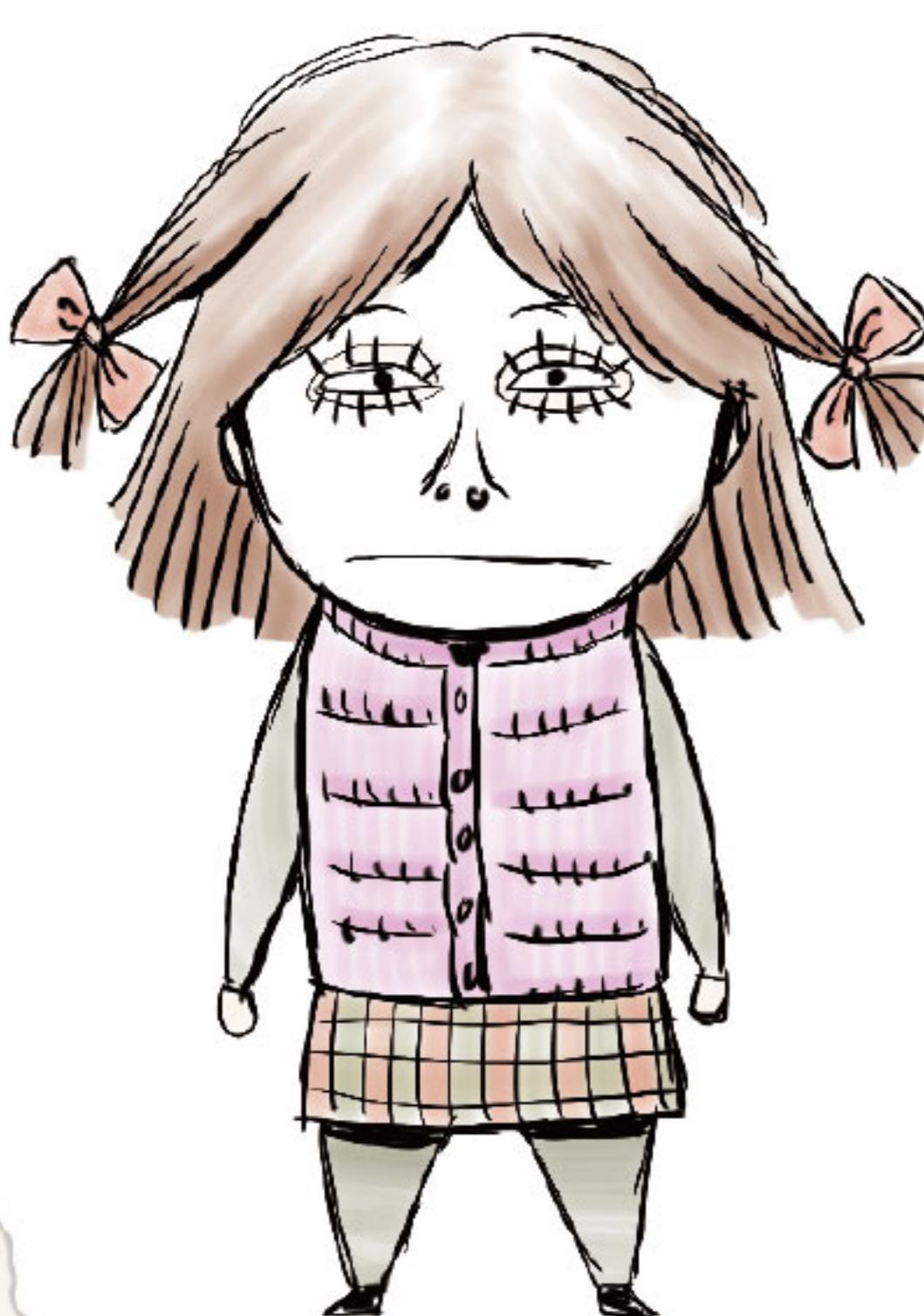
魔法の爆弾により牛乳パックに変えられてしまった。

「白雪姫のkiss」のありかを知っているキーパーソン。



【シンディー】

Chelkoの唯一の女友達。
魔法の爆弾によりワニに変えられてしまった。



<あらすじ>

戦争孤児となったChelkoは、親友のラッティとマンホールの下に住み、配給される食事で生きながらえていた。

街では敵国の恐ろしい新兵器の噂が飛び交っていたある日、上空に呪詛がたっぷり詰まった爆弾が現れた。爆発と共に、大量の禍々しい呪文が街を覆い尽す。

呪いを身体に浴びた人々は、動物や植物、椅子や籠など、人間ではない姿に変えられていく。災いから逃れることができたのは、遠く離れた場所や地下にいた者たちのみであった。Chelkoもその一人だが、親友のラッティはネズミの姿でChelkoの前に現れ、我が身の姿を嘆いている。そこへ牛乳パックに変えられた市長が、下水の中を流ってきた。

市長を助けたChelkoは、呪いを解く『白雪姫のkiss』という薬の存在を知り、ラッティたちと共に探しに出かけたのだが・・・